

平成 22 年度第 1 回豊山町地域公共交通会議議事録

1 開催日時 平成 22 年 8 月 31 日（火）午前 10 時 15 分～午前 11 時 45 分

2 開催場所 豊山町役場 2 階 会議室 1・2

3 出席者

(1) 豊山町地域公共交通会議委員

委員	豊山町長	鈴木幸育
	あおい交通(株)代表取締役	松浦秀則
	名鉄バス(株)運輸部運輸第 2 課長	藤田信彰
	名古屋市総務局企画部企画課主幹	早川裕之
	(社)愛知県バス協会専務理事	長崎三千男
	名古屋タクシー協会専務理事	永山明光
	豊山町老人クラブ元地区役員	伊藤千歳
	豊山町心身障害者福祉協会役員	河村君枝
	中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官	小林裕之
	あおい交通(株)運行係長	工藤彰郎
	尾張建設事務所維持管理課長	渡辺博喜
	西枇杷島警察署交通規制係警部補	太田英一
	愛知県地域振興部交通対策課	松井圭介
	名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻准教授	加藤博和
	豊山町総務部長	長縄松仁

(2) 事務局

	豊山町総務部総務課長	安藤光男
	豊山町総務部総務課長補佐	小川徹也
	豊山町総務部総務課企画財政・情報係長	高橋公仁
	豊山町総務部総務課機会財政・情報係主事	森川泰成

(3) 傍聴者

なし

4 議題

- ① あいさつ
- ② 委嘱状伝達
- ③ 報告事項
 - (1) 豊山町の公共交通の概要について
- ④ 協議事項
 - (1) 地域公共交通総合連携計画策定のための事業計画（案）について
- ⑤ その他

5 会議資料

- 豊山町地域公共交通会議名簿
- 豊山町における公共交通の現状（概要）
- 地域公共交通総合連携計画策定のための事業計画（案）
- 地域公共交通総合連携計画策定のための作業スケジュール（概要）
- 豊山町の交通に関するアンケート
- とよやまタウンバス利用者に対するアンケート調査
- 豊山町の公共交通に関する住民グループインタビュー
- 豊山町公共交通マップ
- （参考）地域公共交通総合連携計画策定のための予算
- （参考）地域公共交通の確保・維持・改善の推進【新規】～生活交通サバイバル戦略～

6 議事内容

①あいさつ

- 総務課長より開会のあいさつ
- 町長（会長）よりあいさつ

【 町 長 】 本町では平成 14 年にとよやまタウンバスを運行しております。町全体の公共交通の利便性に取り組んでまいりました結果、公共交通を利用される方が増加する傾向にあり、利用者から好評をいただいております。この声にお応えするために、本年度からスタートしました豊山町の第 4 次総合計画の中で、公共交通を重点戦略の 1 つとして位置付けた所でございます。平成 17 年度から主に事務局のアンケートやグループインタビュー、情報調査を行い、公共交通の実態把握に努めてまいりました。これまで以上のサービスを提供するためには、皆様の貴重な意見

をいただき、専門性の高い調査、研究に基づいた長期的ビジョンを確定し、計画的に事業を推進する必要と考えております。本日ご審議いただく地域公共交通総合連携計画策定のための調査がその第1歩となると思っています。

②委嘱状伝達

- 人事異動等で新しく委員になられた方には席に委嘱状をあらかじめ設置
- 配布資料の確認
- 会議を原則として公開することの確認

③報告事項

(1) 豊山町の公共交通の概要について

- 【 会 長 】 豊山町の公共交通につきまして、事務局から説明をお願いします。
- 【 事 務 局 】 資料「豊山町における公共交通の現状（概要）」に基づいて説明。
- 【 会 長 】 ただいまの報告について、ご意見やご質問をお願いします。
(委員より質問なし)
- 【 会 長 】 質問がないようなので、次に協議事項の(1)地域公共交通連携計画策定のための事業計画案及び、予算案につきまして、事務局から説明をお願いします。
- 【 事 務 局 】 資料「地域公共交通総合連携計画策定のための事業計画（案）」・資料「地域公共交通総合連携計画策定のための作業スケジュール（概要）」・資料「豊山町の交通に関するアンケート」・資料「とよやまタウンバス利用者に対するアンケート調査」・資料「豊山町の公共交通に関する住民グループインタビュー」について説明。
- 【 会 長 】 ただいまの説明について、ご意見やご質問をお願いします。
- 【 A 委 員 】 「地域公共交通総合連携計画」というネーミングについて、「連携」とはどのような意味かを説明願いたい。
- 【 事 務 局 】 連携という意味についてですが、国は、バスと船、バスと鉄道といった、複数の交通モードをこの事業によって連携させたいということで「連携」という名称がついていると理解しております。豊山町の場合は、バスだけで、鉄道はございませんが、さまざまな交通モードに関して一括した計画を作り、それに対して補助が受けられるという意味合いで、「連携」という言葉が使われていると理解しております。
- 【 B 委 員 】 地域公共交通だけでなく、自家用車や自転車とか徒歩などがみなさんの生活にかかわっているのかという話がありましたので、国の補助や国の話は横においてネーミングについて質問させていただきました。

- 【 会 長 】 ご意見ありがとうございます。他に何か。
- 【 C 委員 】 アンケートは 3000 人配布でどれぐらいの回収率を予想していますか。
- 【 事務局 】 回収率ですが、21 年度の総合計画のアンケートにおいて、住民意識調査をやったところ、回収率は 38.6%でしたので、概ね今回もこの程度の回収率は見込めるのではないかと考えています。
- 【 D 委員 】 回収率そのものがどのくらいかというのにも興味があります。公共交通に関心が深いとか課題が多い所ですと、公共交通に特化したアンケートの回収率は、総合計画とかの一般的なアンケートより回収率が高くなるという傾向がありますから、50%ぐらいは行けばいいなと思いますね。
- あまりお金をかけずに回収率を上げるかということについて研究がありまして、一番いいのは、町長が最初のお願いの所にきちんとサインをすると回収率が上がるという結果になっていますので、そういう工夫もしてみてもいいと思います。
- 【 会 長 】 今のご意見を実行してみたいと思います。
- 【 D 委員 】 前回の協議会はいつ開催されましたか？
- 【 事務局 】 3月の終わりです。
- 【 D 委員 】 私なりに、どうして連携計画を策定することになったかということについて話したいと思います。総合計画策定の意識調査で、豊山町は名古屋市の隣ということもあり、必ず名古屋市といろいろ比較されます。その中で公共交通というものを見ると、豊山町に入ると、言い方が悪いですが急にサービスが落ちる感じがする。ですから、総合計画にある、「小さくてキラリと光る」ためのツールとして、公共交通が非常に重要だということをお願いしたい。
- もう一点は、平成 20 年度から地域公共交通総合連携計画を策定して、それを元にした事業を行うことに対する国の新しい補助制度が出来ました。今年度までの 3 年だけということですので、私自身としては 1 年度目にやりませんか、何回も事務局に申し上げたんですが、今までやらなかったと記憶しています。しかし、3 年度目ですが、今年度から始めることになりました。
- 今頃何故ということですが、23 年度に交通基本法を制定する動きがあり、それに基づいて、市民の移動権を保障すると考えが出てきています。その主役はこの法定協議会のように、公共交通に関わるいろんな人が参加した協議会が、計画して、実行していくことになります。これに対して、国が支援するという仕組みがこれから整備されます。
- ずっと、豊山町はバスを考えてきて、タウンバスと名鉄バスとあおい交通バスをうまく組み合わせることもやってきたんですが、あと抜けて

いるのはタクシーかなと思っています。タクシーについては去年の10月にタクシー適正化活性化法という新しい法律ができていて、それに基づいていろんな施策が各地で行われています。豊山町の場合は町域が狭いということと、名古屋空港もあるということで、タクシーは比較的豊富にあると思われませんが、この新しい法律ではタクシーを公共交通として位置付けるという主旨を持っていますので、この連携計画の中で、豊山町の中で公共交通としてのタクシーの役割はなんだということも検討する必要があると思います。

それから、清須市の計画ではレンタサイクルとか、徒歩とかについても視野に入れた検討をしています。自転車とか徒歩は先ほどの法定計画の範囲外です。連携計画自体は補助が3年間ということですが、清須市や新城市は、10年間の長期計画と3年間の短期計画の両方を作って、10年計画には自動車とか自転車とか入れましたが、3年間の連携計画は公共交通に特化しています。豊山町の場合もそういう2本立てもありうるかもしれません。これは検討していく中で、町の考え方もあるので、これを機会に公共交通だけでなく、交通全般について、きちんと計画を立てて、その中で公共交通計画として、連携計画を位置づけるという考えもあると思います。

ここに事業計画案が出ていますが、せっかくこういう計画策定に予算を組むということですから、日頃疑問に思っていることとか、こういうことを調べたらどうかということは、ぜひ出していただいて、この機会に解決するというをやったらどうかと思います。

例えば、私が思ったのは、豊山町のどのくらいの人が名古屋市の市バスを使っているかということです。如意車庫前や如意住宅に自転車や徒歩で行って、通っている人がどのくらいいるかというのも知りたい。それによって、名古屋市営バスを活用しながら、町として何をやらなければならないか、そこまでの自転車動線はきちんと整備する必要があるといったことも出てくると思います。

豊山町における公共交通の現状の資料2から4の中に、それぞれのバスの利用者がありますが、21年度は全国的には、インフルエンザや不況の影響で、全国的にバス利用者が減少している中で、タウンバスの南ルートだけは利用者が増加しているといったように、部分的にみると増加しているのもあって、豊山町は恵まれていると感じます。それに比べ、北側は落ち込みが激しいので、原因を考えると、町内の方の利用が減少しているのではないかと思います。名古屋空港とエアポートウォークと北部市場という外部からのバス利用がどのくらいあって、それを除くと

豊山町内でどのくらいの利用があるのかということについても調べる必要があると思います。

それによって、町内の利用はどういう移動をしているのかも知りたいと思います。ですので、事業計画にはそのあたりのことが出ていないと思いますが、そのあたりのこともきちんと入れて、次回にはこれをバージョンアップさせてもらいたいと思います。

今日一番お聞きしたいのは、何が豊山町の公共交通、あるいは公共交通を含めた交通の中で、疑問に思っていることとか、もっとデータとして集められることが出来ないとか、そういったことを出していただくとか、あるいは利用状況とかもそうですね。具体的にもっと検証して、知りたいので、そういうご意見も頂きたいと思います。

【 会 長 】 ありがとうございます。せっかくのご意見ですので、実行できることはしていきたいと思います。他にご意見はありますか。

今お話が出ましたので、本来その他でやるべきですが、運輸支局さんから参考資料の説明をお願いしたいと思います。

【 E 委員 】 (参考) 地域公共交通の確保・維持・改善の推進【新規】～生活交通サバイバル戦略～について説明。

【 会 長 】 ホットなニュースを出していただきありがとうございます。その他、何かありますか。

【 F 委員 】 現在、豊山中学校と豊山小学校の間の道から、豊山町社会福祉センターへの道路を新しく作っていますが、今後、道路が出来た時にはバスのルートを変えるという考えはありますか？

【 事務局 】 新しい道路が開通した折にはそちらの道路がメインになると考えていますので、バスの路線を変更していきたいと考えております。

【 F 委員 】 であれば、道路を作る段階でバス停の設置を想定して作ってもらうと、安全のためにいいと思います。

【 事務局 】 関係部署と協議しながら、そちらの方向で進めたいという風に考えております。

【 会 長 】 ありがとうございます。その他はいかがでしょうか。

【 E 委員 】 活性化再生事業には、連携計画に基づいて事業を実施するという総合計画事業がありますが、今日示されているサブスケジュールは今年度だけのスケジュールですので、参考までに、連携計画を策定した後、いつごろから総合連携計画に取り組みされるか、予定でもかまいませんので教えてくださいたく思います。

【 事務局 】 総合計画事業につきましては早急に今後のスケジュールも含めて、検討していきたいと考えています。

【 D 委員 】 全国で連携計画が多く策定されていますが、ほとんど全部に近いぐらいが、その後の計画事業に進んでいます。しかし、豊山町の場合、計画事業はあるかないかわからないという考えで良いのではないかと思います。つまり、先に何かやるっていうことありきで、計画策定しようとしているわけではなく、これから計画を策定していく中で何らかのことが出てくると思うので、それによって計画事業を行うかどうかを決めれば良いと思います。

これは交通基本法のスキームに合わせたものになるように思っています。交通基本法のスキームでは一括交付金になりますので、そこを考えて、豊山町の場合はやっていけばいいと思います。そうするとタウンバスに対する補助についても、一括交付金の中からいただくという風に、直接新制度に移行していけばいいと思います。

運輸支局さんとしては、現在の制度から移行するものが中部地方全体でいくらになるか、どれがどこから始まるのかというのを把握しておかないといけない。

【 E 委員 】 申請を受け付ける側としてのタイムスケジュールもありますので、わかれば早めにお知らせ願いたい。

【 会長 】 ありがとうございます。その他、よろしいですか。

事業計画案についてご了解いただきまして、ということで、締めさせていただきます。

ただいまご審議いただいた計画に基づき、策定を進めてまいります。

【 事務局 】 その他、何かご意見等ございましたらどうぞ。

【 会長 】 せっかく今日は、名鉄バスさんもあおい交通さんもおみえですので、マスコミ発表によると、名古屋空港からは FDA が福岡へ 5 便を飛ばすことになるそうです。J-AIR は厳しい状況のようです。

例えば、名鉄バスの利用状況を見ても、豊山から西春に行く道中のバス停もかなりご利用されています。あおい交通さんも、福岡だけでいいかというようなこともあります。そのあたりについて何かありましたらご意見をお願いしたいと思います。

【 C 委員 】 うちに関しては直行バスというような名前を出していますが、豊山町の町民の方も 15% ぐらいは利用していただいております。FDA さんが福岡便を飛ばしていただけるということになりました。一人でも多く集客できるように FDA さんに今後頑張ってもらえる足元づくりをしたいと思います。

【 会長 】 名鉄バスさんご意見をお願いします。

【 G 委員 】 私どもの路線はどちらかというと空港へのアクセス路線よりも、この

地域の生活路線的な使命にずいぶん変わってきていますが、当然のことながら、ないよりはあった方が良いので、空港が存続されるということであれば、当然現行の形態というのはお客様がある以上はやっていきたいと思っています。

しかし、町内並びに近隣の方々の生活交通としてご利用いただくのが大筋のような感じがしますので、当然タウンバスの存在が豊山町さんにとっては非常に大きいのですが、我々の方も、いろいろな所でご支援をいただきながら、頑張るということを進めていければと思っています。

民間企業ですので、赤字でそれでいいということではないので、多方面からの検討は当然必要かと思いますが、当面は状況を見ながらということになると思います。

【 会 長 】 隣の北名古屋市長との話の中で、北名古屋市の方の利用も多いので、なんとか一生懸命利用促進をしようというお話をいたしましたので、よろしくをお願いします。

【 D 委員 】 データを見ても名鉄バスも非常に利用が多いです。しかし、採算的には厳しいかも知れません。先ほど、サバイバル戦略に出てきましたが、もし厳しいようでしたら、きちっと位置づけをするべきだと思います。

豊山町の一番の売りを考えると、民営バスも、いわゆる公営的なバスも、どれでも町民の皆様に使っていただいて、町民の皆様の利便性の向上に役立てるように考えているということです。きちんとマップでも、公営バスと民営バスを一緒に書くことは珍しいわけですが、豊山町ではきちんと両方とも書いている。どっちも同じで、町民にとっては大事なものだということも、この連携計画をでも謳うと、23年度の制度変更にも対応できる。もし、名鉄バスさんの路線がなかなか難しいとなったとしても、それに対して何らかの底上げが出来るということも出てくると思います。ただ、データを見る限りはあまり影響がないと思いますので、町内の利用をどうやって増やすかと考えましょう。

【 会 長 】 ありがとうございます。我々としては、何とかして町民の利便性を考えてということを考えていますが、豊山町だけでできないものですので、またご意見を頂戴いたしましてやっていきたいと思っています。あと、よろしいですか。

【 H 委員 】 愛知県バス協会ですが、地域の生活交通確保を考えるというシンポジウムを9月24日に開催しますので、お時間のある方はぜひ参加をよろしくをお願いします。

【 会 長 】 ありがとうございます。

【 事務局 】 2点ほど連絡がございます。

1点目ですが、本日皆様にご審議いただきましたアンケート等の内容ですが、細かい所で微調整などについては事務局と名古屋大学の方に一任していただくことでよろしく申し上げます。

2点目ですが、幹事会の日程です。事業計画にもあったように、今後、具体的な調査に着手して11月ぐらいには素案を作って、幹事会の方にお諮りしたいと思いますので、改めて日程調整をしたく思います。

以上をもちまして、平成22年度豊山町第1回公共交通会議を閉会させていただきます。ご協力ありがとうございました。